

よりよい高齢者ケアのためどのような施策を行うのか

渡部 市代

問 昨今、介護保険制度では解決できない虐待や認知症など、複雑にいくつかの問題が重なった困難な事例が増え、高齢者ケアの課題となっている。このような困難事例に対して、今後どうケアしていくのか。現在1人であるあったか相談員の今後は、介護予防となる訪問介護での「散歩援助」は、これまで介護保険サービスとして認められて

いないが、市の取り扱いはどうなっているのか。また、要介護となったときにケアプランの土台となる、自分の半生とこれからの希望を言葉として残す「マイケアプラン」を市として取り組むことを望むが。

答 困難事例に対しては、早期対応や地域ケア環境の整備が不可欠である。今年度から、高齢者保健福祉計画に基づき、地域包括支援センターを中心に、地域住民団体とのネットワークを形成し、的確な施策を推進する。一人で暮らす高齢者の相談窓口であるあったか相談員は、増員を考える。散歩援助は、自立支援に資する場合、介護サービス可能としており、ケアプラン作成の際、必要性を十分検討するようお願いしている。また、マイケアプランは、ケアプラン作成に活用できるものか、今後の動向を見守りたい。(ほかに「高齢化社会への対応とCO2排出削減の共存できる交通について」を質問)



7月12日、ドリームプレイウッズで開設7周年の記念イベント「ハマラカ祭」が開催され、多くの子どもたちが流しそうめんやゲームを楽しみました

寺尾上土棚線北伸に向け今後どのように取り組むのか

新綾クラブ 笠間信一郎

問 寺尾上土棚線は、藤沢市の国道1号線から県道40号線まで4車線が完成しているが、その北伸は緊急の課題であると考え。平成21年度予算の新規事業として、広域道路対策事業1167万円が計上されている。この中で、寺尾上土棚線北伸へ向けて、地元意向の把握、広域調整、構造などの検討を行うとしている。地元意向の把握に対する取り組み予定はどうなっているか。広域調整の内容、頻度などはどのようなものか。また、構造の検討では、さまざまな案を提示できることが具体化への近道と考えるが、どのような形で進めるのか。

答 寺尾上土棚線北伸区間は、市北部の交通対策として、一刻も早く実現させなくてはならないと認識している。現在、本市が中心となり、相模原、座間、海老名の4市と県で「(仮称)藤沢相模原線整備に関する勉強会」を発足させるところである。勉強会は年4、5回開催し、県事業として進めてもらうよう、来年度までの2カ年で道筋を立てたい。また、懸念事項を勉強会などで十分に検討し、今年度中に地元自治会や権利者の方々と調整に着手したい。そして、地元住民の意見を聞きながら構造などを決定したい。(ほかに「電線類地中化事業に関する今年度の取り組みについて」を質問)

登下校時の子どもたちの安全確保に向けた取り組みは

二見 昇

問 不審者が子どもに声をかける事件が発生している。犯罪や交通事故から子どもたちを守るため、地域でパトロール隊が結成され、登下校時に通学路の安全確保やパトロールを行っているが、不審者などの苦情は何件くらいあるのか。行政・教育委員会としての対策や被害をなくすための環境づくりはどうなっているか。青パト(青色回転灯を

搭載したパトロール車)3台が、1日3回、年間1490回巡回していると聞いたが、この回数で、すべての子どもたちを守るのか。子どもたちの安全を守るために、青パトの台数を増やせないか。

答 不審者情報の件数は、昨年度は33件、ことは現在まで13件である。小学生全員に防犯ブザーを貸与し、被害の未然防止を図るとともに、学校では、不審者が近づいてきたら逃げるように指導している。青パトの導入は犯罪の抑止が目的であり、子どもの登下校時の安全のほか、市民が犯罪被害に遭わないための取り組みも必要である。一部の青パトは登下校時にあわせて巡回しているが、より安全確保に配慮した運用をしたい。また、リサイクルプラザにも青パトがあるため、効果的な巡回を検討していく。(ほかに「生活保護の現状について」「日米地位協定について」を質問)

市有地に場所を決定し総合福祉会館の早期建設を望む

市民会議21 青柳 慎

問 平成18年2月に総合福祉会館複合施設整備プロジェクトチームが立ち上がり、3部会に分かれて研究・検討されているが、現在の進捗よく状況は。また、第1の建設候補地としての市役所北側隣接地は市街化調整区域で、短期的に建設することは難しいことである。建設が予想さ

れる場所として、中村地区センター前の旧町役場跡地や早川城山多目的広場が挙げられるが、これらはどのように活用していくのか。現在利用可能な市有地に場所を決定し、早期に建設を進めていく考えはないか。

答 プロジェクトチームでは、建設手法の研究や、施設は、総合福祉会館をはじめ図書館機能や生涯学習機能など

の充実が図れるような複合施設とし、候補地では、市役所周辺を中心に建設可能な敷地の調査研究を進めてきた。今後、市有地を候補に、既存施設との関係や施設のあり方などの課題を整理し、建設地の決定に努力していく。また、新たな土地利用の方針が決まるまでは、旧町役場跡地は中村地区センター駐車場として、早川城山多目的広場はスポーツ広場として使用する。(ほかに「人と人がふれあう交流施設について」「都市計画道路並塚笹山線延伸について」「健康マラソン教室の実施計画について」を質問)

議会の動き

5月	15日	5月臨時会・議会全員協議会・議会報編集委員会	
6月	20日	議会全員協議会・議会報編集委員会	
	26日	議会運営委員会	
	28日	和歌山県有田市議会議員来市(適応指導教室)	
	29日	5月第2回臨時会・議会全員協議会	
6月	2日	6月定例会本会議(初日)・議会運営委員会・議会全員協議会	
	5日	市民福祉常任委員会	
	8日	経済建設常任委員会	
	9日	総務教育常任委員会	
	10日	議会運営委員会	
	11日	基地対策特別委員会	
	15日	6月定例会本会議(第2日)	
	16日	6月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会	
	19日	6月定例会本会議(最終日)・議会全員協議会	
7月	8日	議会運営委員会行政視察(小田原市)	
	15日	議会運営委員会	
	22日	7月臨時会・議会全員協議会	
	30日	厚木基地に関する要望書提出(防衛省ほか)	
8月	3日	議会報編集委員会	
	4日	5日	基地対策特別委員会行政視察(石川県小松市・小松基地)